

## 第98回 病態生化学セミナー

日時：平成28年1月26日（火曜日）午後6時00分～

場所：医学部講義棟1階 国際交流ラウンジ

演題：ギャップジャンクションを介した器官形成機構

Gap junctional communication regulates organ morphogenesis

演者：福本 敏 先生

東北大学 大学院歯学研究科 小児発達歯科学分野 教授

細胞間結合の1つであるギャップジャンクションは、脊椎動物においてはコネキシンとパネキシンと呼ばれる二つの分子種によって構成される。コネキシンファミリーの1つであるコネキシン43は、各組織の発生段階に発現し、眼歯指異形成症の原因遺伝子であるとともに、様々な増殖因子のシグナル伝達を制御している事が明らかとなった。一方、新しい分子種であるパネキシンは、パネキシン1から3までの3種類が報告され、特にパネキシン3については硬組織に特異的に発現する。これらパネキシン43、コネキシン3による器官形成機構、特に歯、唾液腺、肺、軟骨等における新たな分子機構について、遺伝子欠損マウスやヒト疾患を用いた解析から明らかになった知見を報告する。

【福本 敏】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp

博士課程選択必修科目：基礎医科学(3)、

博士課程選択科目：細胞生物学I(6)、老化II(20)、発生生物学I(15)、発癌I(22)、腫瘍生物学I(24)、II(25)、III(26)、臨床腫瘍学I(28)、II(29)、III(30)、IV(31)、V(32)、VI(33)、地域がん治療学(37-1)、口腔腫瘍学(37-2)、薬物動態学I(70)、腫瘍免疫学I(79)、理工医学のための生物材料学(103)

医科学専攻(修士課程)選択科目：

腫瘍の発生・増殖とその制御(23)、理工医学のための生物材料学の基礎(34)を履修している学生は、できる限りこのセミナーに出席してください。